平成 30 年度 教員地域貢献活動支援事業（協働型） 成果報告書

課題名	新港地区発ヨコハマ“もの”＆“コト”の共同開発	
研究者	代表教員氏名	国際総合科学部 教授 中條 祐介
	事業ユニットの構成（代表者除く）	
提案者	株式会社横浜インポートマート	

課題

みなとみらい21地区の整備が進み、多くの商業施設が立地する中、新港地区の中核施設である横浜ワールドポーターズ（YWP）の更なる情報発信力と求心力を高めることが課題である。来街者へ向けて魅力的な“コト”を発信するほか、“モノ”づくりにも共同で取り組んでいる。学生の視点を活かしたストーリー性のある商品開発をするために、情報収集や販路についても調査を進め、新たなヨコハマの顔となるモノ作りを目指す。

課題解決の方法

新港地区の主たるターゲット層は若者であったが、近年では収容能力の高い駐車場を備えていることで、ファミリー層の来場も増加している。新港地区で提供できるコトを開発することで、顧客ターゲットの多様性を高め、全体的な来場者数の増加につなげることが期待される。また、コトと連動させたものの開発を行うことで、購買行動にシナジーが生じることが期待される。そこで、以下の取組を行う。

1. 新港地区の潜在的な魅力について、歴史的な経緯や市場調査など多面的に調査を実施する
2. 上記1.の調査に基づいて、新港地区の魅力を伝えるストーリーを構想し、コトづくりの材料とする。
3. 上記1.の調査と2.のストーリーに関連させたものづくり（商品（特に食品）を構想）に取り組む。
4. 上記の取組に効果を検証しながら改善活動を行う

研究実績報告（スケジュールと内容・成果）

4月 事業ユニットで全体の目標等のすり合わせを行い、ものとコトそれぞれの業務分担を決定した。また、事業提案者である株式会社横浜インポートマート（YIM）と計画のすり合わせを行った。
5月 提携先企業を開拓。もの、コトそれぞれの今後1年間の方針、計画を策定し、YIMとの意見交換を行った。
6月 提携先企業の選定を行い、複数の関係先との打ち合わせを重ねた。
7月 企業と条件面を含めて折り合いがつかず提携を一時断念。学生の視点を生かした独自の商品開発を行うため、新港地区周辺まで含めた市場調査を改めてゼミ生で実施した。
8月 コト班：秋企画（10月）の準備
もの班：市場調査での気づきを踏まえてゼミ生でアイデアを出し合い、企画案を複数作成
9月 ゼミ合宿にてゼミのOBOGに活動に対する意見収集とゼミ生全体でのミーティングで活動の相互理解を深めた。
コト班：冬企画（12月）の準備
もの班：ゼミ生が班ごとに作成した企画案の中から最終的に開発する商品を選定（YIMの意見も踏まえて）
10～11月 コト班：秋企画の実施（モザイクアートに必要な写真の撮影）
もの班：デザイン候補を複数用意し、YIM及び販売予定先店舗の店長との意見交換を行った。デザインが決定し、業務分担（デザイン作成、添付画像の商用利用への許可申請等）を行い、ぞれぞれの班に分かれて活動を推進した。
12月 コト班：冬企画の実施（クリスマスワークショップ開催）、専用のソフトを用いてモザイクアートを作成
1月 もの班：データが全て完成、委託会社へのデータ入稿
コト班:平成30年度実施企画の振り返りと、もの班との融合事業を構想 （来年度実施予定のスタンプラリー活動）
2月 商品完成、年度末報告会でのプレゼンテーション（今年度の活動報告及び来年度予定している活動と年間スケジュールの共有）

連携機関（提案者以外）	＜画像提供先＞赤レンガ倉庫共同事業体、大沸次郎記念館、開港記念会館、神奈川県庁、神奈川県立博物館、岐阜県岩村町観光協会、国立国会図書館、新城市設楽歴史資料館、第二合同庁舎、大日本コンサルタント、都市発展記念館、原三渓市民研究会、日本郵船歴史博物館、郵船不動産株式会社、宮川香山 真葛ミュージアム、郵船不動産株式会社、横浜開港資料館、横浜市史資料室、横浜山手西洋館 ＜マーケティング協力店舗＞グディーズヨコハマ

得られた効果及び自己評価

新港地区の魅力を増すことのできる商品の開発、活性化に資するイベント活動、プロモーションの実施など、新港地区の集客増と活性化に一定の水準で貢献し、当初期待されていたレベルで十分に要求に応えることができたと感じている。一方で、商品の市場への投入やコトとの十分な融合までは至ることができなかった。この点については次年度の課題である。

今後の課題と展開

＜今後の課題＞
ターゲット層に向けて商品を届けることができているか、商品を通じて新港地区の魅力を十分に伝えることができているか、その取組みの効果を検証しながら改善活動を続けていくこと

＜今後の展開＞
開発したものとコトを連動させることで購買行動にシナジーが生じることが期待される。また、新港地区の認知度向上につなげる。

研究発表（投稿準備中、投稿中、発表予定を含む）
＜発表＞ ＜報道機関による紹介＞ 日経新聞「クリスマスのワークショップ」2018年12月１日付朝刊 神奈川新聞「観光客らの笑顔が浮世絵に　横浜」2019年1月20日付朝刊 日経新聞「学生企画　横浜ゆかりの雑貨」2019年3月19日付朝刊
研究成果による知的財産権の出願・取得状況

知的財産権の名称	発明者名	権利者名	知的財産権の種類、番号	出願年月日（和暦）	取得年月日（和暦）
該当なし					